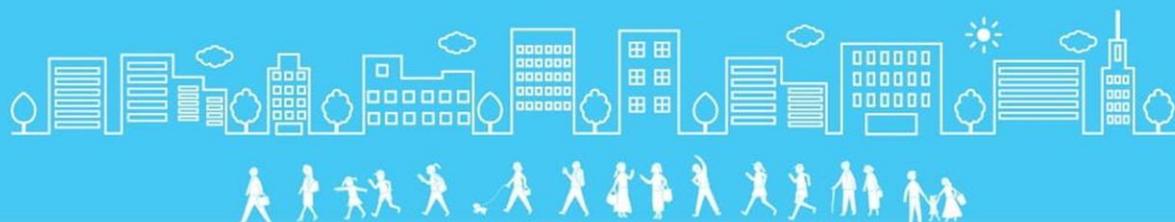


「夢かなうまち おびひろ」

米沢のりひさ 未来のつくり方 4.0

十勝・帯広を前へ！

2026年3月
米沢のりひさ



まちづくりの基本方向

私は4期16年にわたり、「フードバレーとかち」を旗印に十勝19市町村の結束を大切にしながら、皆さんとともに地域の発展に向けた種まきを積み重ねてきました。

これまで打ってきた一つひとつの「点」が、時流を追い風に「線」へとつながり始め、十勝・帯広は、産業や暮らしの基盤が厚みを増し、これからの時代に即した価値ある地域として注目されつつあります。

さらなる発展の可能性が広がる今、歩みを止めることなく挑戦を続け、十勝・帯広の未来を確かなものにしていかなければなりません。

私は次の3つの基本方向のもとで、十勝・帯広の明るい未来を耕していきます。

これまでに培ってきた経営感覚と、経験に基づく判断力・行動力、そして多くの方々とのつながりを総動員して、まちづくりをさらに前進させる舵取りを担っていく覚悟です。

1 第七期帯広市総合計画を着実に進める

将来のまちの姿「あおあお ひろびろ いきいき 未来を信じる 帯広」を目指して、引き続き、総合計画の幅広い取り組みを着実に進めていくことが私の使命です。

市民の皆さんが幸せに暮らせるまちづくり、持続可能なまちづくりへ全力を注ぎます。

2 これからも十勝はひとつ

これまで「フードバレーとかち」を旗印に、十勝19市町村が方向性を共有し一体となって地域経済の活性化、生活環境の充実につなげてきています。

管内の自治体、首長、事業者や住民の皆さんと培ってきた一体感、信頼関係をこれからも大切にし、ともに積み上げてきた実績を土台に、引き続き、活力があり住みよい地域づくりへ一緒に行動します。

3 高まる十勝・帯広の存在感を確固たるものに

十勝・帯広は今、これからの日本、北海道の発展になくてはならない地域として、国や北海道、企業などから一目置かれる、無視できない存在になってきています。

これまでにまいてきた将来への種を育て、また、この数年間で生まれてきた新たなチャンスに手を打っていくことで、十勝・帯広の存在感をゆるぎないものにし、市民の皆さんの幸せにつなげます。

まちづくりの基本姿勢

まちづくりを進めるうえでの私の視座は、常に「すべての市民の幸せ」にあります。

市民の皆さんと語り合いながら、「一党一派に偏しない市民党」の立場で、まちづくりの最適解を求め、行動してきています。

これまで4期16年にわたって貫いてきた基本姿勢で、これからもぶれることなく、まちづくりを進めていきます。

食・農を前へ！

- 1 A I 農業を展開する環境づくりや研究拠点化など、十勝が一体となって特区構想を進めます。
- 2 帯広川西 I C フードテックパークの開発や企業立地を促進します。
- 3 国や自治体、事業者などと連携し、高速道路等のインフラ整備や自動化など、十勝圏域の物流機能の強化に取り組みます。
- 4 帯広畜産大学やとち財団などとともに、農畜産物の生産、加工などで価値を生む取り組みをさらに進めます。
- 5 事業化への伴走支援の強化など、地域で新たな「しごと」を生みはぐくむ仕組みや体制をさらに充実させます。
- 6 「和牛のオリンピック」や「国際農業機械展」をはじめ、全国・世界規模のイベントや会議の誘致・開催を通じて、十勝・帯広の食や農業の価値を高め、魅力を発信します。
- 7 アウトドア観光やインバウンド需要などに対応した総合的・効果的な取り組みを進め、地域の観光振興のレベルアップをはかります。
- 8 バイオマス資源や太陽光などの再生可能エネルギーを活かし、GX（グリーントランスフォーメーション）に資する取り組みを促進します。

まちを前へ！

- 9 次なる50年の帯広の森づくりへ、市民や事業者などが森の価値を知り、様々なかたちで関わるための情報発信、仕掛けづくりに取り組みます。
- 10 「エリアビジョン」に基づき、緑ヶ丘公園の魅力向上に市民や事業者、団体などとともに取り組みます。また、帯広少年院跡地の利活用に向けて検討を進めます。
- 11 豊かな食や楽しい体験をめあてに人が行き交いにぎわう中心市街地づくりに事業者や団体などとともに取り組みます。
- 12 人口・財政の見通しや施設の利用状況などを踏まえ、公共施設マネジメントの取り組みを着実かつ効果的に進めます。
- 13 帯広市内・近郊での持続可能な公共交通のあり方やサービス改善の可能性を事業者や関係自治体とともに検討します。
- 14 上下水道事業の経営効率化や基盤強化に向け、業務の共同化などの可能性を関係自治体とともに検討します。
- 15 帯広圏デジタル化推進構想に基づき、近隣3町や事業者などと連携し、住民の幸せや地域活力の向上につながる取り組みをさらに進めます。
- 16 定住自立圏や地域生活圏などの枠組みのもとで、管内自治体と連携した取り組みをさらに進めます。
- 17 第七期総合計画を着実に推進し、次期の計画につなげます。

未来戦略「フードバレーとまち」
ひと・くらしを前へ！

- 18 子どもを真ん中に、こども家庭センターの機能発揮や福祉と教育の連携などを通じて、子育て期の切れ目ない相談・支援体制の充実をはかります。
- 19 市民が家庭や地域で「健康習慣」を身につける動機づけ、きっかけづくりに事業者や団体などとともに多方面から取り組みます。
- 20 高齢者や障害のある人などが地域で自分らしくいきいきと活躍できる機会を広げるとともに、外出・移動しやすい環境づくりを進めます。
- 21 「おいしい」給食への取り組みをさらに進めるとともに、給食を通じて学校や子ども、地域のつながりをさらに深めます。
- 22 エリア・ファミリーの取り組みに手を加えながら、地域と連携した教育活動や小・中学校9年間を通じた教育をさらに充実させます。

米沢のりひさ連合後援会

〒080-0020 帯広市西 10 条南 18 丁目 1 番地 4
0155-65-5701

討議資料

